

神戸リガ1974年から姉妹都市 文化・スポーツなど中心に交流

神戸市とバルト海の面したラトビア共和国の首都リガ市とは、1974年から姉妹都市関係にあります。

1972年3月、日ソ協会兵庫県連の招きで、全ソ対文連副会長ヘスリヤク氏が来市した際、リガ市と神戸市の姉妹都市交流について提案があり、宮崎辰雄神戸市長との話し合いが行われました。

その後、宮崎市長、ジエメリス・リガ市長の相互訪問を経て、1974

年6月18日にリガ市で姉妹提携の調印が行われ、その後、ラトビア共和国のソ連からの独立に伴い、1991年10月、神戸で姉妹都市提携の再調印を行いました。

この間、代表団の相互訪問、合唱団や民族楽器の演奏、カルテットの公演、リガのファッションショーの開催、バレーボール、テニス、柔道、バスケットボール、サッカー、剣道の親善試合、リガでの神戸展、神戸でのリガ展、ポートピア博(1981年)への参加、経済ミッションの訪問、動物の交換、神戸まつりへの参加など、多面的な交

流が行われました。

1995年の阪神・淡路大震災では、被災地の子どもを励ますため大聖堂少年合唱団が来神、子象のスゼが寄贈されました。2004年5月、神戸で神戸・リガ姉妹都市提携30周年記念式典が盛大に行われました。今年(2007年)10月21日朝、スゼに雄の赤ちゃん(154kg)が生まれました。子象の公開はありますが、現在愛称を募集しています。

なお、2008年に神戸で「リガ展」、リガで「神戸展」の相互開催が検討されています。



ポートピア博リガの日に出演したラトビア民族アンサンブル「リエスマ」(1981年)



ラトビア女声コーラス「ブトゥニ・鳥」(2004年)

お城でこけもも狩り

神戸市民リガ親善訪問団

9月11日、総勢10名でリカへと関西空港を飛び立った。リカ空港では対文連のカツタイ氏が、ホテルでは友好協会代表のトマセさんが出迎えてくれた。

次の日、カツタイ氏が旧市街地を案内してくれ、市役所を表敬訪問した。団長の日下順二氏がラトビア語をまじえてあいさつし、神戸市長からの親書を手渡した。そして、記念品を手渡し「リ

カ市と神戸市の友好と平和と幸せが続きますよう」と英語でコメントします。「深く心にとどき感動した」と喜ばれた。

夜は友好協会のメンバーと会食パーティー。ラトビアの民族楽器コークレの演奏を聞き、おいしいラトビア料理を食べた。私たちが日本で練習したラトビア民謡(そよ風に愁いを)を全員で歌い、そのころ、



ライター城のツアーに出発した。シグルタ公園では、12本の木がサークルになっている場所に連れていって、木に一人ずつ、背中をふれ、自然とふれあった。そのあと林の中でこの狩りをした。いろんな種類のきのこがあちこちに・・・。

見つけた時はヤッター！フリギッタさんが「まあ、こけももがこんなに群生している。みなさん、こけももにはビタミンCと身体に大切な栄養素が含まれています。食べなければなりません」と叫ばれ、私たちは夢中でこけももの実を食べた。日

本では体験できない経験ができてラッキー！そのあと彼女の日本語学校を見学した。彼女は、漢字については私たち日本人よりよく知っておられ、日本語とラトビア語の漢字辞典を作成しておられるとのこと。フルギッタさんのエネルギー的な情熱に、私たちは力をもらった気がした。

また、カツタイ氏は日本の古典に造詣が深く、近松門左衛門の人形浄瑠璃の床本をラトビア語に訳して出版されているのを知り、びっくりした。ラトビアの方々の日本に対する愛情と友好と、素晴らしいのにおもてなしの心を感じ、国を超えてすばらしい方々との出会いに感謝、感謝・・・。

速水豊子